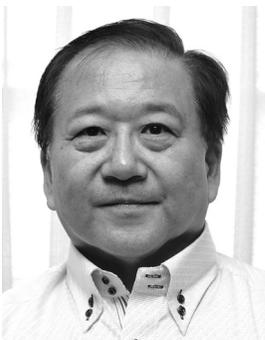


地震予知はできるのか

東海大学海洋研究所地震予知センター長、教授 長尾 年恭

- * 地震学者の仕事ではない短期予測
- * 地震には前震現象がある
- * 本腰を入れた地震予知学を
- * おカネは大してかからない
- * 最悪のシナリオにどう備えるか
- * 中長期の異常と直前の異常
- * 異常現象を公知する体制をつくる
- * 東海地震単独は一度もない
- * 地域再生の事業継続計画
- * 連動する可能性は極めて高い



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は東海大学海洋研究所地震予知センターの長尾先生をお招きしました。9月1日が防災の日で、今年は関東大震災90周年ということでかなり話題になりましたが、この分野の第一人者である長尾先生にお越しいただきました。

皆さん地震の話は新聞、雑誌等ではよっちょうご覧になっていると思いますが、実は今日世間で言う地震学とは違うお話をさせていただきます。私がここでくどくど申し上げることもないのですが、メディア等を通じて流れている地震、あるいは災害その他の話は、ある意味で歪んでいることが多いものです。今日は新しい知識を頭に入れて帰っていただけたと思います。それでは長尾先生、よろしくお願いたします。

（拍手）

長尾 ただいまご紹介にあずかりました東海大学の長尾と申します。今日は地震予知について特化してお話ししたいと思います。最初に長尾とはどんな人間なのか先にご紹介いたします。大学を出まして東大の地震研究所にしばらくおりました。そこで学位を取って、最初、石川県の金沢大学に就職しまして、96年に現在の静岡にある東海大学へ移ってまいりました。また、学生の頃、南極越冬隊で1年ちよつと昭和基地にいたことがあります。アテネ大学に行ったときは地電流、地震予知の研究です。

現在の専門は、電磁気学的な手法による地震の直前予知、火山噴火予知の研究、それからもう一つ、統計物理学やパターンインフォマティ